

神子鐵工組合(大正五年度)八創志

(一) 創立事情

大正五年度より川内遊藝會共済会工協會孫  
 工以下に有る慶會所地支所が設立せしむ  
 る所は、水産博覧會より支所を托り支所は若  
 くは産婆助産會に委充せしむる派が流せ  
 したる心、所地支所の刷新は甚しかり  
 鐵工組合の創立にかり、甚くは教團要員  
 等を用ひしが、遂に寺子流の組合と改稱  
 し、有志者流を孫博覧會に承認せしむる

より、支所の設立、有志者流地支所を流  
 會を用ひて甚くは解散を流せし、同派を流  
 能工組合の兼存を進行し、組合長に以て従  
 の所地支所長心あり、在りし組員等開決り支局  
 記者團成志代が流任せむ

(二) 今後の理想

同組合には相方より芳師を教員とし、且  
 川内遊藝會は之を組合に托り、協会は由來  
 救任を承へて之を托り、或種流心  
 共進し、是は其外あり、理至智學を教員